

和露・露和辞書の副詞の記述

因 麻衣子
ボラシクワ・サマル
カザフ国立大学

キーワード：カザフ人日本語学習者 和露・露和辞書 辞書の使用実態調査 副詞 誤用

1. 調査の背景と目的

カザフスタンは他の CIS 諸国同様、ソ連からの独立後もカザフ語とロシア語の二言語がつかわれてきた。多くのカザフ人、特にアルマティなどの都市に住むカザフ人は、日常会話レベルであれば、ロシア語もカザフ語も両方、支障なく使える。

このようなカザフの二言語社会では、両言語が補い合う場面が多々見られる。外国語学習においては、カザフ語で解説された教材は少なく、ロシア語に翻訳された語彙集や辞書を用いることが多い。日本語学習においても例外ではない。正確には日本において日本人カザフ語研究者を中心に編纂された日カ辞書が存在するが、それはカザフスタンでは入手困難であり、日本語学習者が日常で使用できるものではない。したがって、彼らは和露・露和辞書を日々の日本語学習に利用している。

しかし、カザフ人でもロシア語の運用能力には差がある。ロシア語が第一言語であればよいが、カザフ語母語話者はロシア語の辞書の記述をどの程度理解できているのか、疑問である。また、ロシア語の記述から頭の中でカザフ語に訳すときに、ずれや誤訳が生じている可能性もある。

日本語学習者の誤用の原因の一つとして、このようなロシア語訳、カザフ語訳のずれがあるのではないかと考え、カザフ人学習者の副詞の誤用について調査したことがある（因・サルジヤノヴァ・カリコヴァ・ヌレロヴァ, 2012）。その結果、副詞の意味用法において混乱が見られるものがいくつかあった。

本調査では誤用の多い副詞「ぜひ・きっと・かならず・たしか・たしかに」の和露・露和辞書の記述を調べ、また学習者への調査も行った。このアンケート調査では、同時に学習者の辞書使用の実態も探った。

2. 「ぜひ・きっと・かならず・たしか・たしかに」の和露・露和辞書の記述

上述の副詞は、小林（1992）やウズベク人学習者を調査したメニバイエヴァ（2005）においても取り上げられており、母語に関わらず様々な国の学習者がこの副詞を誤用するケースが多いことが分かる。また、以前の調査からも、カザフ人学習者にも同様の傾向が見られることが分かった。そこで、これらの副詞について、和露辞書の記述を調べた。

2. 1 「ぜひ・きっと・かならず・たしか・たしかに」の違い

まず、日本語の「ぜひ・きっと・かならず・確か・確かに」の意味であるが、『新明解国語

辞典』(三省堂)や『現代副詞用法辞典』からは、以下のような意味を抽出することができる。

ぜひ：相手に対する非常に強い要望を表す語で、しばしば希望・依頼などの表現を伴う。

きっと：話し手の確信や決意や主観的な推量を表す。

必ず：客観的な確立が高い様子を表す。

確か(確かに)：断言はできないまでも、まず間違いないと思いきこむ様子。「確かに」は、相手に話を聞いて、納得したときの相槌の言葉としても用いられる。(『新明解』)

また、市川(2000)ではこれらの副詞を以下のように分析する。

「ぜひ」は「かならず」「きっと」とくらべ、聞き手目当ての働きかけの強い語で、相手に対する依頼・願望を表す。また、「かならず」が高い確立の度合いを示すのに対し、「きっと」は話し手の主観的な、推量の断定、および話し手自身の強い推量を表す。「確か」は判断の根拠は記憶なので不確かだが、その記憶が正しいとすればその事柄は間違いなく成立するはずだという含みを持ち、一方、「確かに」は認知ずみ、証明ずみの事柄を根拠として、自信を持って事柄が成立するという話し手の判断を表す。

2. 2 和露・露和辞書の記述

次に『研究社和露・露和辞典』の記述を調べた。

ぜひ：<必ず・きっと> непременно [nepremenno] / обязательно [obyazatelno] / во что бы то ни стало [vo shto byto ni stalo] ぜひうちにいらしてください Заходите ко мне непременно. [Zahodite ko mne nepremenno]

必ず：<きっと> непременно [nepremenno] / обязательно [obyazatelno] <いつも> всегда [vsegda] / без исключения [bez icklyucheniya] / каждый раз [kazhdyi ras] 必ず明日10時までに来てください。 Обязательно придите завтра до десяти часов. [Obyazatelno prihodite zavtra do desyati chasov]

きっと：<(意志を含んで) 必ず> непременно [nepremenno] / обязательно [obyazatelno] <予測として・必ず> должно быть [dolzhno byt] / наверное [naverno] / наверняка [navernyaka] / непременно [nepremenno] / несомненно [nesomnenno] またきっと来ます。 Приду опять обязательно. [pridu opyat obyazatelno]

確か： Наверно(е) [naverno(e)] / вероятно [veroyatno] / если я не ошибаюсь [yesli ya ne oshibayus] / насколько я помню [naskolko ya pamnyu]

彼は確か明日来るはずだ。 Он, Наверно(е) придет завтра. [on naverno priidet zavtra]

確かに： <実際に> в самом деле [v samom dele] / действительно [deistbitelno] <正確に> точно [tochno] <疑いなく・きっと> несомненно [nesomnenno] 彼は確かに来る。 Несомненно, что он придёт. [nesomnenno ,chto on pridet]

以上を見ると、「ぜひ・きっと・かならず」はすべて「непременно/ обязательно」というロシア語に翻訳されている。また、「きっと」と「確か」、「確かに」には「наверное」や「несомненно」という共通の語も使われている。

一方、露和辞典の記述を見ると、「непременно」は「確かに、かならず、きっと、ぜひ、きまって」、「 обязательно」は「どんなことがあっても、かならず、きっと(непременно)」である。また、「наверное」は「確実に、間違いなく、かならず(наверняка)」となっている。

『コンサイス和露辞書』の記述は以下のとおりである。

確か：<確実な> достоверный [dostovernyj], верный [vernij]、<確定した> решенный [reshennyj], определенный [opredelennyj]、<正確な> правильный [pravilnyj], точный [tochnyj]、<たぶん> вероятно [veroyatno], помнится [pomnicha], как сохранилось в памяти [kak sokhrabilos v pamjati]

上述のように、「確か」は「確実な、間違いのない」という意味の形容詞の意味で説明されており、最後に副詞としての語義が出てくる。

辞書の記述だけに頼ってしまうと、これらの副詞を適切に使うことができない可能性がある。

3. 辞書の使用実態調査と副詞の理解度調査

3.1 調査の概要と目的

調査対象者は、カザフ国立大学とカザフ国際関係外国語大学の2年生から大学院2年生まで、さらに教員も含む約45名である。調査対象者の日本語能力はN4～N1で内訳はN1:3人、N2:9人、N3:12人、N4:14人 N4以下:7人だが、レベルは自己申告である。

また、調査内容は、辞書の使用実態の調査と「ぜひ・きっと・かならず・たしか・たしかに」の理解度を測る調査の二つのパターンから構成されている。具体的な質問項目に関しては附録の調査用紙を参照されたい。回答者の母語とロシア語の理解、日本語学習の際の使用辞書などのほかに、最近の利用者の多いオンライン辞書についても、よく利用するオンライン辞書や長所や短所などを質問した。また、間違いやすい副詞について、どの程度学習者が理解できているか、理解度調査も同時に行った。

本調査の目的は以下のとおりである。

(1) カザフ人学習者の使用辞書と使い方の把握

先に述べたとおり、カザフスタンには日本語—カザフ語の辞書がない。多くのカザフ人はロシア語を使うことができるため、和露・露和辞書を用いていると思われるが、実際に日本語学習においてどのような辞書を使用しているのか、またどのように用いているのか、調査した。

(2) 辞書利用に関する問題点の整理

日本語—カザフ語の辞書がないことの問題点を整理したいと考える。カザフ語母語話者が和露・露和辞書を使用していた場合、日本語からロシア語へ、さらにカザフ語へという流れで辞書を使っている可能性が高い。その場合、語彙の理解に問題が出てくるのではないだろうか。また、このような問題点を整理することで、教師が学習者へ辞書使用に関して、今後どのように指導していくことができるか、その方法を検討したいと考えた。

(3) 誤用（主に副詞）の理由を探る

副詞の調査（因・サルジャノヴァ・カリコヴァ・ヌレロヴァ, 2012）から、副詞の意味・用法に誤用がみられることを先述した。辞書の記述や学習者の辞書の利用方法に誤用の糸口があるのではないかと考え、さらに詳しく調査することにした。

3.2 辞書の使用実態調査結果の分析

まず、辞書の使用実態調査結果についてまとめる。

回答者の母語とロシア語理解であるが、第一言語として45名中カザフ語と答えたのが24名、ロシア語と答えたのが21名、両方と答えたのが1名であった。また、ロシア語理解に関して

は問題ないと答えた者がほとんどだった。使用辞書に関しては、多くがオンライン辞書や検体電話の辞書アプリを利用していた（表1参照）。yarxi とは、ロシア人が開発したソフトで、漢字を書いて検索することができ、ホームページからオンライン利用することもできる。

また、辞書利用に関しては日本語能力のレベルで特徴があった。オンライン辞書や携帯電話のアプリは、様々なレベルの学習者が利用していたが、研究社やコンサイスの和露辞書などは、中上級の学習者の利用に偏る傾向があった。オンライン辞書の利用状況では、Google Translate が圧倒的に多かったが（表2参照）、yarxi をオンライン辞書と見なすか見なさないかは人によって違ったため、yarxi の利用者自体はもっと多いと思われる。

表 1 辞書の利用状況

使用辞書	人数	レベル
オンライン辞書	23	レベル問わず
携帯電話アプリ	22	レベル問わず
電子辞書（コンサイス？）	20	N4 以下でも 9 名
研究社和露	13	ほぼ N1～N2
コンサイス	9	ほぼ N1～N3
yarxi	5	レベル問わず
Lavrentev の和露・露和辞書	3	N4（外大のみ）
ロシア語ミニ辞書	3	N4 以下
Neverov の和露・露和辞書	2	N4（外大のみ）

表 2 オンライン辞書の利用状況

Google Translate	31
yarxi	13
Yahoo!辞書	4
yakusu.ru	3
warodai.ru 、sozdik.kz など	3

また、分からないロシア語があった場合は、カ露・露カ辞書やカザフ語オンライン辞書、ロシア語国語辞書などの辞書利用や、両親や教師、友人などの知人に聞く、という意見も多かった。やはり、カザフ人の多くがロシア語使用にあまり不自由を感じていない様子が見られた。

日本語のテキスト等をカザフ語に、もしくはカザフ語のテキスト等を日本語に翻訳する際に、ロシア語がどのように作用しているのかを聞いたところ、ロシア語が間に入ることが分かった。まず、日本語のテキストにおいては、ロシア語に翻訳する。カザフ語の語順が日本語と同じであるため、単語のみロシア語にすると答える学習者もいた。その際には先述のように、オンライン辞書等を利用する。それからロシア語をカザフ語に翻訳する。ロシア語からカザフ語への翻訳は露カ辞書等を利用したりするが、それほど問題は感じていないようである。カザフ語から日本語への翻訳は反対に、単語をカザフ語からロシア語に翻訳し、それから日本語にする。

ロシア語から日本語へ翻訳する際に利用する辞書は、先述と同様であるが、特に露和辞書に関しては、日本で編纂された辞書は使わない。日本語の記述に漢字が多く、難しいからである。

表 3 辞書を使っていて困ったこと

言葉が多すぎて、正しい使い方が分からない	9
漢字が分からない	7
必要な言葉がない、言葉が少ない	5
間違いが多い	4
直訳する・文法的に正しい文章にしない	3
ロシア語の翻訳が分からない	2
用例が少ない	2
最新語彙・専門用語がない	2
検索に時間がかかる	2
そのほか	5

表 4 オンライン辞書の長所と短所

長所	
早い	19
便利	10
使いやすい	4
単語翻訳はある程度あっている	2
例文に音声がついている	2
文章が翻訳できる	2
辞書が多い	2
その他	3
短所	
(直訳なので) 文章を文法的に正しく翻訳できない	13
間違いが多い	11
検索結果は詳しくない	2
類義語が多い	2
(和露) →類義語が少ない	2
(露和) →カタカナ語が多い	1
人間が早く訳す辞書に慣れてしまう	1
信頼できない	1
Google Translate は間違いが多い	1
読み方が分からない	1
漢字が書けない	1

表 5 紙の辞書（オンライン以外）の長所と短所

長所	
便利	9
早い	8
どこでも使える	5
短所	
言葉が少ない・必要な言葉がない	15
用例がない	4
カタカナ語が多い	2
電子バージョンの yarxi は有料	2
(研究社和露) 時間がかかる	1
辞書が少ない	1
翻訳が合っていない	1
露和辞書での訳がキリル文字になっていて不便	1
専門用語がない	1
漢字がよく見えない	1
単語の訳が多く、どれを使うかわからない	1
もう使われていない単語がある	1
漢字の読み方がない	1
重い	1
持っていない	1

3. 3 辞書の使用調査結果の考察

3. 3. 1 使用辞書について

学習者の使用辞書に関しては、日本語能力によって使う辞書に違いがみられた。オンライン辞書や携帯電話のアプリは、様々なレベルの学習者が利用していたが、研究社やコンサイスの和露辞書などは中上級の学習者の利用に偏っており、レベルが上にあがるほど、研究社やコンサイスなどの辞書を使うことが分かった。これには、日本語能力の向上に伴って学習者を取り巻く環境が変わっていくことも関係しているだろう。研究社などの紙の辞書は日本でしか売っていないため、初級者には手に入れにくい。しかし、日本語能力が上がるにつれて、研修や留学などで日本に行く機会があり、そこで購入してくることが考えられる。また、カザフスタン日本語弁論大会の参加賞が研究社の和露辞書であるため、中上級者はそれで手に入れた可能性も高い。

電子辞書や携帯電話のアプリの使用はレベルを問わないが、特に初級者には yarxi などのロシア人（ロシア語話者）日本語学習者向けに開発されたオンライン辞書の利用が目立った。yarxi には漢字を PC に書き込んで検索する機能があり、初級者には「便利だ」という声もあった。

日本人が編纂した露和・和露辞書は漢字が多いことから初級学習者には使いにくい可能性がある。特に露和辞書に関しては、研究社やコンサイスを使う、という回答は皆無であった。

逆に、上級者（日本語教員、N1 取得）には、yarxi などのオンライン辞書を使わないと言う者もいた。当然のことだが、初級者と上級者では必要とする日本語が異なる。上級者にとってオンライン辞書は、語彙数が少ない、間違いが多い、という欠点のほうが目立つと言えるだろう。

また、日本語の国語辞書を使う、という回答者は上級者においてもゼロであった。

3. 3. 2 オンライン（翻訳）辞書と紙の辞書の特性

学習者は、紙の辞書、もしくは電子辞書の特性やオンライン辞書の特性を理解し、使い分けられていることが分かった。現時点ではオンライン辞書を最もよく使用する初級学習者でも、オンライン辞書の欠点を理解している。特に、Google Translate のように、文章をそのまま翻訳する機能がある翻訳サイトについては、それを便利だとする一方で、「文法的に正しい文章にできない」という声が多かった。また、紙の辞書に関しては、語彙が少ない、用例がない、という答えが多かった。特にコンサイスなどのコンパクトタイプの辞書は、紙数の制限から用例が非常に少ない。

3. 3. 3 翻訳のときの使用言語について

日本語のテキスト等をカザフ語に、もしくはカザフ語のテキスト等を日本語に翻訳する際に、ロシア語がどのように作用しているのかを調べたところ、ロシア語を介していることが分かった。初級～初中級レベルのカザフ語・ロシア語であれば、カザフ語母語話者もロシア語母語話者もあまり問題を感じることなく両言語を使い分けられている様子が見られた。

しかし、日本語からロシア語へ、それからカザフ語へ、という流れは、日本語とテュルク諸語であるカザフ語の言語間の距離の近さを考えると、非効率であると言える。日本語とカザフ語は、語順や助詞、「～てみる」などの補助動詞の働きなど、共通点も非常に多い。日本語とカザフ語は語順が同じであることは学習者も理解しているが、ロシア語辞書しかないため、単語を調べる際にはカザフ語からロシア語に翻訳する必要がある。『みんなの日本語』などの教材もロシア語で解説するものがほとんどであるため、カザフ語母語話者もロシア語解説書を利用している。カザフ語と日本語の言語間の距離の近さを効率的に利用できていない状況であると言えるだろう。

3. 4. 調査結果を今後の指導に活かすために

今回の調査結果を、教師が今後の指導に活かすことができないか考察してみたい。

カザフ人教師は、自身が上級レベルの学習者として使用する辞書は『研究社』や『コンサイス』などであるが、学生が使っている辞書も教師として把握しておく必要があるのではないだろうか。特に、漢字を書いて検索できる yarxi や、Google Translate などの翻訳サイトなど、学習者は様々な機能をその場に合わせて使っているようである。

学習者はオンライン翻訳や紙の辞書の特性を理解していることが調査結果から分かったが、その一方で、N4～N3 レベルの学生に作文を書かせると明らかに Google Translate などを使ってそのまま貼りつけてきたような文章を書いてくるケースが散見される。オンライン翻訳サイ

トの使用を禁止するという指導法もあるかもしれないが、一律に禁止するのではなく、オンライン翻訳をより有効に使えるようになるための指導ができるだろう。例えば、翻訳サイトで翻訳した文章をより正しい文に直すような実践も考えられる。

実際に学習者が普段使っている辞書やリソースを取り入れた活動は、学習者を取り巻く学習環境を利用した実践だと言えるだろう。このような実践を教室でも行うことによって、学習者はより効率的な自律学習に取り組むことができるようになることが予想される。

3. 5 副詞の理解度調査

学習者が混同しがちである「きっと」「必ず」「ぜひ」「たしか」「たしかに」について、どの程度理解できているのかを把握するために調査を行った。調査の問題は選択肢と翻訳との二つの形式の問題であった（附録参照）。

3. 5. 1 問題Ⅰの結果分析

問題Ⅰの選択肢問題は二つか三つの副詞のうち、適切な副詞を選ばせ、完成文の翻訳とその副詞を選んだ理由を求める問題であった。

表 6 問題Ⅰの正答率

問題	正答例	正答率
1	たしか／たしかに	0.53
2	たしかに	0.58
3	たしか	0.62
4	たしか／たしかに	0.73
5	たしかに	0.67
6	たしかに	0.80
7	ぜひ	0.80
8	きっと	0.78
9	必ず	0.73
10	きっと	0.69
11	必ず	0.60
12	ぜひ	0.78

今回では「ぜひ」「きっと」「必ず」にあまり誤用が見られなかった。「ぜひ来て下さい」のような、よく使われるパターンの出題だったため、間違える学習者が少なかったのかもしれない。「ぜひ」は『みんなの日本語Ⅰ』18課新出、「かならず」が『みんなの日本語Ⅱ』36課新出のため、N4 レベルの学習者は「かならず」を使う場面において、「ぜひ」を使うことが多い。N3～N4 レベルの学習者の中には「私は毎朝ぜひ歯を磨きます」という回答も見られた。一方、中級以上になると、今回の調査ではあまり誤用が見られなかった。

また、「確か」「確かに」に関しては、会話の場面の例文(問題 2,3,4,5)では「確かに」と「確か」は正答が多くみられたが、以下のような形式の問題では誤りが多くみられた。

6.コンビニは24時間開いていて、(たしか、たしかに) 便利だ。

3. 5. 2 問題IIの結果分析

問題IIの翻訳問題は、「きっと」「必ず」「ぜひ」「たしか」「たしかに」の意味が含まれているロシア語とカザフ語の文章を、正しい副詞を入れて日本語に訳すという問題であった。

1. Ol balkim karbalas bolar. On navernyaka zanyat .

彼はきっと忙しいだろう。

2. Kunde tanerten myndetty tyrde tisimdi juamin. Ya kajdoe utro obyazatelno chisshu zubi.

毎朝必ず歯を磨きます。

3. Mindetti tyrde konakka keliniz. Obyazatelno prihodite k nam v gosti.

ぜひ遊びに来てください。

4. Nakty esimde jok, birak oni bir jerde kezdestirgen siyaktymyn. Tochno ne pomnyu, no navernyaka, ya ego gde-to vstreshala.

よく覚えていませんが、確かどこかで会ったような気がします。

5. Solay oilaitindar da shynymen bar goi. Koneshno je, est lyudy, kotorye tak dumayut.

そう考えている人が確かにいるよ。

表7 問題2の正答率

問題	正答例	正答率
1	きっと	0.24
2	必ず	0.67
3	ぜひ	0.78
4	たしか	0.49
5	たしかに	0.29

翻訳に関しては「確か」「確かに」「きっと」の使い分けで誤用がよく見られた。以下、正答率が低かった問題1、4、5について考察する。

1. Ol balkym karbalas bolar. On navernyaka zanyat .

正しい日本語訳：彼はきっと忙しいだろう。(正答率 0.24%)

本問題においては、「確かに」という答えが多かった。カザフ語では「balkym」は推量を表す副詞で、「bolar」は推量を表す複合動詞である。したがって、カザフ語ではこの文章からはっきりと推量であることが分かる。一方、ロシア語に関しては、副詞「navernyaka」は、ロシア語話者の感覚では推量のみを使うという答えが多かった。しかし、研究社の露和辞書においては「navernyaka」の訳は「かならず」、「きっと」だけではなく、第一義として、「正確に」、「確実に」、「確かなこと」として記述されている。またオンライン辞書でも「navernyaka」は「確かに」となっている。出題者の意図としては、推量の意味で出題しており、カザフ語には上述のようにその意味が含まれている。しかし、ロシア語のほうでは、「確かに」と「きっと」の違いをはっきり表すことが出来ず、回答も「確かに」と答える人が多かった。

4. Nakty esimde jok, birak oni bir jerde kezdestirgen siyaktymyn. Toshno ne pomnyu, no navernyaka, ya ego gde-to vstreshala.

正しい日本語訳：よく覚えていませんが、確かどこかで会ったような気がします。(正答率 0.49%)

カザフ語には「確か」という副詞がない。一方、「よく覚えていませんが」、「私の過去の記憶では」などの内容の節が文脈の頭に出る。また、「siyaktymyn」などの複合動詞も動詞の後に付いてきて、日本語の「確か」の意味を表す。ロシア語でも「tochno ne pomnyu (よく覚えていませんが)」という節の後につく「navernyaka」は「確か」の意味を表す。だが、回答者では「確かに」との答えが多かった。

5. Solay oylaytindar da shynymen bar goi. Koneshno je est lyudy, kotorye tak dumayut.

正しい日本語訳：そう考えている人が確かにいるよ。(正用 0.29%)

本問題に関しては、「確か」と答える人の割合のほうが多かった。

そこで、辞書使用実態調査において、よく使われていた Google Translate と Yarxi オンライン辞書で、「確か」と「確かに」の記述を調べてみた。Google Translate の和露辞書では「確か」は「dostoverno, tochno」と翻訳されていたが、これらの日本語の意味は「確実に、確かに」という意味になってしまう。また、「konechno」は「確か」「確かに」「きっと」と翻訳されていた。したがって、これらの副詞の違いは、この記述からは全く分からない。また、yarxi でも、「確か」は「doctoverno, tochno」と翻訳されていた。

3. 6 調査結果とオンライン辞書の記述の分析

これらの副詞の理解度調査からは、和露・露和辞書の記述の意味だけで副詞を理解し、使い方を理解していないことが明らかになった。研究社の和露・露和辞書にまであたれば、正確な用例などの記述があるが、学習者がそれらの辞書を利用することはほとんどない。オンライン辞書だけでは、「確か」「確かに」の違いはほとんど分からない。

また、そもそも「確かに」と「確か」は形が似ているため、別の意味・用法がある語として認識していない可能性がある。辞書によっては、「確か」という形容詞の説明の最後のほうに副詞「確か」を一用法として説明しているものもあり、「確かに」と同じ項目で説明しているものもあった。一方、この二つに違いがあることは認識しているが、間違っ理解している学習者もいた。

4. まとめ

本調査では、カザフ人学習者、特にカザフ語母語話者がどのように和露・露和辞書を利用しているのかを中心に調査を行った。その結果、カザフ語母語話者とはいえども、カザフ語・ロシア語の両言語を自由に行き来し、彼らなりの方法で日本語を理解しようと努めている学習者の姿が浮かび上がってきた。調査前は、日本語→カザフ語辞書がないことの不自由さが調査結果から見えてくることを予想していたが、ロシア語をうまく利用して日カ辞書がない不自由さを埋めようとしていることが分かった。多くのカザフ人母語話者は、初中級レベルぐらいまでの日本語であれば、時間はかかっても日本語→ロシア語→カザフ語の流れにそれほど苦勞はし

ていないようである。これは同じ中央アジアでも、ロシア語を使わなくなってきたウズベキスタンとは違う点である。カザフスタンだけではなく、他にも日本語と自国語の辞書を持たない国は数多く存在するが、ロシア語という道具を持つことは強みであると言えるだろう。

一方でこの現状は、言語間の距離が近い、日本語⇄カザフ語の利点をうまく活かすことができていないとも言える。副詞の調査からも、ロシア語辞書の記述にとらわれている様子が見られた。もちろん、副詞に関してはカザフ語と日本語は大きく異なる部分もある。しかし、カザフ語母語話者がカザフ語で副詞の意味・用法を理解できれば、より正確に使い分けができるようになるだろう。現在、カザフ語で書かれた副詞の解説書を作成中である。辞書では説明しきれない、文脈や使い方の違いをカザフ語で説明したいと考えている。

今後は、日本語－カザフ語の辞書の作成、さらにはカザフ語を用いた日本語教授法の開発も期待したい。

参考文献

- 市川保子（2000）『続・日本語誤用例文小辞典』凡人社
- 因・サルジャノヴァ・カリコヴァ・ヌレロヴァ（2012）「日本語とカザフ語における副詞について」『第4回トウルク諸国日本語教育セミナー報告集』pp.40-51
- 小林典子（1992）『「必ず・確かに・確か・きっと・ぜひ」の意味分析』『筑波大学留学生教育センター日本語教育論集』7, pp.1-17
- 東郷正延 他（編）（1988）『研究社 露和辞書』研究社
- 飛田良文・浅田秀子（1994）『現代副詞用法辞典』
- 藤沼貴（編）（2000）『研究社 和露辞書』研究社
- メニバイエヴァ・イネッサ(2005)「ウズベキスタン人学習者のための日本語副詞研究--「きっと」「必ず」「ぜひ」を例に」『日本言語文化研究会論集』1, pp.119-147

【附録】

Анкета (アンケート)

機関名 学年 1 2 3 4

JLPT 級 N1 N2 N3 N4 N5

あなたの母語はどちらですか？ ロシア語・カザフ語

「カザフ語」と答えた学生に聞きます。

1.ロシア語の新聞や本を読んで、大体の内容を理解することができますか？

2.あなたは日本語を勉強するとき、どのような辞書を利用しますか？

✓ 通常の紙の辞書

研究社 和露辞典

コンサイス露和辞典

ロシア語ミニ辞典

そのほか (_____)

✓ 辞書サイト

✓ ポータブル電子辞書

✓ 携帯電話の辞書機能

✓ 辞書を使っていません

3. 日露辞書、露日辞書を使って、分からないロシア語があったら、どうしますか？

4. 日本語のテキスト（本など）を、自然なカザフ語訳にしたいとき、どうしますか。また、どんな辞書を使いますか。

5. カザフ語で書かれている新聞やテキスト、自分がカザフ語で考えた作文を日本語にしたいとき、どうしますか。またどんな辞書を使いますか。

6.日本語で作文を書くとき、何語で考えてかきますか？（すぐ日本語で書くか、それともカザフ語やロシア語で書いて、書いたものを日本語にしますか）

7.どのようなインターネットの辞書サイトを利用しますか？

Yahoo! 辞書

excite 辞書

goo 辞書

Google Translate

Прочие

8.辞書を使っていて、今までどんな困ったことがありましたか？

9.オンライン辞書のいいところ、悪いところがあったら教えてください。

10.あなたが持っている紙の辞書（もしくは携帯電話の辞書）のいいところ、悪いところを教えてください。

I. 正しい副詞の使い方の問題

正しい使い方を選んで、ロシア語かカザフ語に訳しなさい。また選んだ理由も書きなさい。（辞書を

使ってもいいです。なお、どんな辞書を使ったか書きなさい。）

1. あれ？牛乳ぎゅうにゅうがない。(たしか、たしかに) このまえ買ったはずなんだけど・・・
2. a. あのお店、おいしいよね！
b. (たしか、たしかに) 味あじはいいけど、値段ねだんが高いからなかなか行けないよ。
3. a. 山田さんがアメリカに行っていたのは、いつでしたか？
b. ああ、あれは (たしか、たしかに)、去年きょねんの今ごろでしたよ。
4. (古い写真を見ながら)
a. この人の名前は (たしか、たしかに) 山田でしたよね。
b. ええ、(たしか、たしかに) 山田さんですよ。
5. a. 鈴木さんって、かわいくない？
b. まあ、彼女は (たしか、たしかに) かわいいけど、ちょっと性格せいかくがねえ・・・
6. コンビニは24時間あ開いていて (たしか、たしかに) 便利べんりだ。
7. (かならず、きっと、ぜひ) 遊びあそに来てください。
8. 顔色かおいろが悪いから、彼は (かならず、きっと、ぜひ) 病気かぜだろう。
9. 宿題しゅくだいを (かならず、きっと、ぜひ) やってきてください。
10. 電話に出ない、(かならず、きっと、ぜひ) 留守るすでしょう。
11. 生きているものは (かならず、きっと、ぜひ) 死ぬし。
12. (かならず、きっと、ぜひ) 富士山ふじさんに登のぼりたいと思っている。

II. (たしか、たしかに、きっと、ぜひ、かならず) のどれかの副詞を入れて、日本語に訳しなさい。

1. Ол бәлкім қарбалас болар. Он навөрняка занят.
2. Күнде таңертең міндетті түрде тісімді жуамын. Я каждое утро обязательно чищу зубы.
3. Міндетті түрде қонаққа келіңіз. Обязательно приходите к нам в гости.
4. Нақты есімде жоқ, бірақ оны бір жерде кездестірген сияқтымын. Точно не помню, но навөрняка, я его где-то встречала.
5. Солай ойлайтындар да шынымен бар ғой. Конечно же есть люди, которые так думают.